


令和5年度 
北海道池田町
町勢要覧





町の沿革

池田町は明治32年5月「^{しほまむ}洞寒外13カ村戸長役場」の設置に始まり、平成30年には開町120年を迎えました。池田町に和人として初めて入植したのは山梨県出身の武田菊平氏で、明治12年のことでした。明治29年には本格的に開墾が始まり、旧鳥取藩主家当主の池田仲博侯爵による「池田農場」と、横浜の実業家であった高島嘉右衛門氏による「高島農場」の二大農場を中心として開拓が進められました。明治の末期から大正時代にかけては水害や冷害、病虫害などによる凶作にたびたび苦しめられましたが、この苦難・苦闘の時代を乗り越えた先人と、先人によって切り開かれた豊かな大地が池田町の礎となっています。

町の名称は明治39年に「洞寒村」とし、大正2年に「川合村」へ変更。大正15年には町制施行に伴い、現在の「池田町」となりました。

町の位置と地勢

十勝平野の中央やや東寄りとなる東経143°27′、北緯42°56′に位置し、東西25km、南北32kmにわたります。地勢は平たんで、山岳地帯でも海拔100~200mを超える程度です。東は浦幌町、西は音更町および幕別町、南は豊頃町、北は本別町および士幌町に接しています。

気候は、夏は30度を超え冬は氷点下20度を下回ることから、1年の寒暖の差は50度以上になります。降雨量、降雪量共に十勝管内では少ない方で“十勝晴れ”と呼ばれる爽やかな晴天に恵まれることが多いのも特徴です。

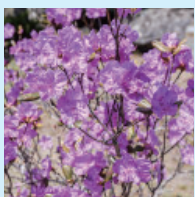
データ

- 面積：371.79km²
- 人口：6,089人
- 世帯数：3,251世帯
- 町長名：安井 美裕
- 役場：北海道中川郡池田町
- 所在地：字西1条7丁目11番地
- 電話：015-572-3111
- ファクス：015-572-5158
- ※人口・世帯数は令和5年3月末現在

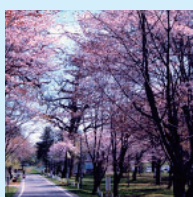
交通のアクセス

- 特急列車で
 - JR札幌駅から約2時間50分
 - JR釧路駅から約1時間15分
- 車で
 - 帯広市から約35分
 - 札幌市から約4時間
 - ※高速道路 利用の場合
 - 約2時間50分
 - 旭川市から約3時間45分
 - 釧路市から約2時間
- 飛行機で
 - 羽田一帯広空港(約1時間30分)
 - 帯広空港から車で約50分

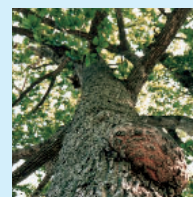
町花・町木



町花：ツツジ
おむね低木から高木で、常緑または落葉性。園芸品種も多数作られ、公園や道路の分離帯の植え込みなどにしばしば見られます。4~5月に先端が5つに分かれた漏斗形の美しい花を1~数個つけます。町内でも公園や住宅の庭などに広く植えられています。



町木：サクラ
日本で最も愛されている植物の一つで、落葉の高木または大型の低木です。日本には20~30種が分布しています。江戸時代から園芸品種も多く作られ、明治時代にソメイヨシノが全国に広がりました。町内では昭和6年に清見ヶ丘を中心に数多くのエゾヤマザクラが植えられ、毎年5月の中旬から中旬に開花しています。



町木：カシワ
日本全国に自生する落葉高木。縁起の良い木として庭に植えられ、葉はかしわ餅を包むのに用いられます。雄花と雌花があり、開花は5月で果実は球形。清見ヶ丘公園のカシワは樹齢300年を超えるといわれ、幹のあちこちに大きなコブができ、見る人を驚かせます。夏には青々とした大きな葉が木陰をつくり、秋にはドングリがリスたちの越冬食料になります。

■ ワイン城と十勝ワイン

令和2(2020)年6月、 ワイン城がリニューアルオープン

昭和49(1974)年に建設された十勝ワインのふるさと、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所は、中世ヨーロッパの古城に似ていることから「ワイン城」と呼ばれ、北海道・十勝を代表する観光地として多くの観光客に親しまれています。

ワイン城は、本体の耐震化や設備の長寿命化、観光の魅力向上を図るため、平成29(2017)年度にC倉庫をスパークリングワイン製造・見学施設へと改修したのを皮切りに、平成30(2018)年度にブランデー蒸留室、令和元(2019)年度にはワイン城本館と外構の改修工事に着手。令和2(2020)年3月、15年ぶりの大改修事業を終え、同年6月20日にリニューアルオープンしました。

地下2階の「地下熟成室」には、約170もの熟成樽が並ぶほか、貴重なオールドビンテージワインがご覧いただけるとともに、温度、湿度、瓶熟成中にコルクに付着した自然のカビなど、ワイン造りを五感で体感できます。

1階には「ショッピングエリア」があり、十勝ワインをはじめ、池田町の特産品などが豊富に取りそろえられているほ

か、大きな貯酒タンクの中をイメージさせる特徴的な曲面壁の一角に試飲コーナー(有料)が設けられています。また、昭和39(1964)年からブランデーの蒸留を始め、現在も使用する蒸留器と熟成樽をショッピングエリアからガラス越しに見学可能な「ブランデー蒸留室」もあります。

2階には、池田町のワイン造りのきっかけや歴史、寒冷地でのブドウ栽培の苦労を物語る8枚の大型パネルや文献を展示する「廊ミュージアム」のほか、ワインやブドウに関する本を備え、ゆったりと座れる席が設けられた「ライブラリ」があります。

4階は「レストランフロア」。新生レストランのメニューは「プレミアム」と「カジュアル」が融合し、池田町や十勝産の食材を取り入れた料理がアラカルト(単品)で提供されます。レストラン前には、軽食を楽しめるフードカウンターコーナーがあり、ワインや各種ドリンク、ワインに合うおつまみのほか、池田町産「山幸」果汁を使用したシャーベットや各種スイーツなどが楽しめます。

ほかにも、十勝ワインやブランデーの製造施設を案内する「ワイナリーツアー(有料)」、「平日限定ミニワイナリーツアー(無料)」も開催しています。

また、ワイン城東側にあるC倉庫では、瓶熟成やスパークリングワインの製造が見学できます。



①前庭ブドウ園に8,000ℓの大樽を設置したワイン城。 ②スパークリングワインの製造を見学できるC倉庫。 ③4階のレストランフロア。十勝平野の広大な田園風景を眺めながら地産の食材とワインを楽しめます。 ④2階のライブラリ。本を読みながら、ワインを片手につろぐことができます。 ⑤1階のブランデー蒸留室。ブランデーを製造する機器を見学できるほか、バーカウンターを設け、試飲スペースとして利用します。 ⑥1階の試飲コーナー(有料)。専門スタッフの説明を聞きながらワインのテイスティングが楽しめます。 ⑦十勝ワインはもちろん、数々の池田町の特産品が勢ぞろいした1階のショッピングエリア。 ⑧8,000ℓの大樽を解体し屋根としたバーカウンターを設けた地下熟成室は、ワインの香り漂う独創的な空間に。 ⑨ガラスで仕切られた通路から見学可能なワイン城東側の工場の瓶詰めライン。

■ ワイン城と十勝ワイン(続き)

こだわりの熟成によって生まれる 十勝ワイン・ブランデー

十勝ワインは、昭和39(1964)年にハンガリーの首都ブダペストで開催された「第4回国際ワインコンクール」に出品した赤ワイン「十勝アイヌ山葡萄酒」が銅賞を獲得したのをはじめ、国内外のワインコンクールで数多く入賞するなど高く評価されています。

近年では、日本ワインコンクールで、平成30(2018)年に「ブルーム白」が銅賞、令和元(2019)年に「ツバイゲルト2016」が銀賞を受賞。ワインペアリングコンテストで、令和3(2021)年に「ブルーム白」がスパークリングワイン賞、「セイオロサム白2019」が日本ワイン賞を受賞しました。また、サクラアワードでは、令和3(2021)年に「山幸アイスワイン2018」、令和5(2023)年には「山幸2020」「清見2020」「北海道産ビンテージ赤2019」がそれぞれゴールドを受賞しています。



十勝ワイン
清見

優しい色合い、果実香と熟成香のバランスが良く、爽やかな酸味と軽快ながら豊かさを持つ味わいは、まさに十勝ワインの代名詞的な存在に。



十勝ワイン
山幸

父親である山ブドウ譲りの草木系の果実香、力強い酸味と野趣あふれる味わいをもち、秀でた個性を有するワイン。



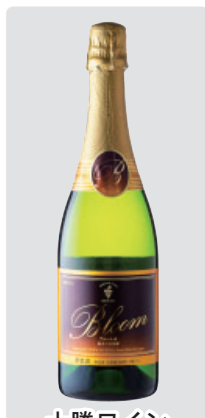
山幸
アイスワイン

樹上凍結したブドウを摘み取り、压榨した果汁から造られ、芳醇(ほうじゅん)な香りと濃厚な甘さ、酸味を持つ贅沢なデザートワイン。



十勝ワイン
セイオロサム白

華やかな果実香を持つ、北国特有の豊かな酸味をストレートに表現したエレガントな味わいのワイン。



十勝ワイン
ブルーム白

ケルナー種由来の爽やかな柑橘類をイメージするアロマ(果実香)とバランス感が際立つ味わいが特徴のスパークリングワイン。



十勝ブランデー
原酒

十勝の冷涼な自然の中で30数年眠り続けた高貴で繊細な香りが特徴のブランデーで、樽から出したままの原酒の力強さを感じさせる至高の逸品。

池田町で独自開発したブドウ 「清見」「清舞」「山幸」

池田町のブドウ栽培は、生食用ブドウの棚仕立て方式とは異なり、機械化に適した垣根仕立て方式で行っています。



栽培ブドウの多くは独自開発した品種です。ヨーロッパから導入した醸造用品種の中から、5年がかりで育種選抜した「清見」。さらにその清見と町内に自生するアムレンシス系山ブドウを交配した耐寒性品種が「清舞」「山幸」などです。これらのブドウから造られるワインは、北国特有の力強い酸味を持った熟成タイプのワインとなります。

令和2(2020)年には、池田町独自品種「山幸」が、国際ブドウ・ワイン機構(OIV、フランス)に醸造用ブドウとして品種登録され、日本では白ワイン用品種の「甲州」、赤ワイン用品種の「マスカット・ベリーA」に続く3品種目のOIV登録品種となりました。これにより、ワインの本場フランスやイタリアなど欧州連合(EU)加盟国に十勝ワイン「山幸」を輸出する際、「Yamasachi」と池田町独自品種の名称をラベルに記載することができるようになります。

新たな醸造用ブドウ品種 「未来」「銀河」

令和4(2022)年1月17日に、醸造用ブドウの赤品種「未来」と町内で生産可能な待望の白品種「銀河」が、新品種として農林水産省に登録されました。

この2品種の命名者は「ドリームズ・カム・トゥルー」のポーカルで池田町出身の吉田美和さんです。



ドリカム・吉田美和さんのふるさと

平成17(2005)年10月には、吉田美和さんが所属する「ドリームズ・カム・トゥルー」の資料を展示する「DC Tgarden | KEDA」がワイン城下にオープン。コンサートの衣装などが展示されているほか、美和さんが愛用していたソファに座って映像を見られるスペースもあります。平成21(2009)年6月には、全国のドリカムと十勝ワインのファンを一体化しようと整備した観光ブドウ園「ドリームズ・カム・トゥルー・ビニヤード」もオープンし、観光スポットとして人気を集めています。JR池田駅では、池田発札幌行きの特急おおぞら(一部のみ)の改札音として「晴れたらいいね」「ALMOST HOME(オールモスト・ホーム)」2曲のオルゴール音がホームと待合室に流れ、利用客の皆さんをお迎えしています。



■ 保健・医療・介護・福祉

保健センター

保健センターは、母子保健、生活習慣病予防のための各種検診・健康教育、予防接種、介護保険の申請、障がい者・児童・高齢者の相談窓口として、町民の皆さんの健康づくりを支えています。

地域包括支援センターや発達支援センター、子育て世代包括支援センターを併設し、保健福祉の拠点となっています。



子どもセンター

子どもセンターは育児相談や子育てサークルの育成支援などを目的に平成21年、池田保育園に併設され開所しました。週に4日施設を開放し、子どもの成長を手助けする遊びなどを通じて子育てをしていけるよう支援しています。



多世代交流施設ふらっと

子どもから高齢者まで幅広い世代が、地域交流・世代間交流を目的とした活動や事業などに活用できる施設として、令和4年4月にオープン。3つの集会室と調理室があり、エアコンやストーブなども完備し、年間を通して快適に利用できます。



いきがいセンター

高齢者の方たちが充実した生活を送るためのお手伝いをしようと、昭和47年9月から始めた「いきがい焼」の陶器作り事業。令和4年に50周年を迎え、いきがいセンターでは、町内で産出する粘土を利用して湯飲みや花瓶などを制作・販売しています。



十勝いけだ地域医療センター・池田町小規模介護老人保健施設びりか

十勝いけだ地域医療センター（一般病床60床）と小規模介護老人保健施設びりか（定員29人）は指定管理者制度により、公益社団法人地域医療振興協会が管理運営を行っています。人工透析治療や通所・訪問リハビリを行うなど、診療やリハビリの充実を図っています。



また「十勝いけだ訪問看護ステーション」の管理運営も行い、24時間体制で訪問看護を実施するほか、リハビリの訪問も行っています。

特別養護老人ホーム

広域型の「池田光寿苑」（50床）と地域密着型の「池田長寿苑」（29床）の2つの施設があります。いずれも社会福祉法人池田光寿会が運営。池田光寿苑ではショートステイ（4床）も行っています。



認知症高齢者グループホーム・多機能ホーム

認知症の高齢者の方を支える共同生活施設（グループホーム）の「のどか（18人）」「きよみ（9人）」「きずな（9人）」を、通いを中心に、短期間の宿泊など日常生活の支援を行う小規模多機能型居宅介護事業所「多機能ホームいこい（18人）」が、家庭的な環境の中で、高齢者の方たちの生活を支援しています。



通所介護・訪問介護

在宅で介護が必要な皆さんの機能訓練や入浴、食事などのサービス提供を目的に、通所介護事業は「池田町デイサービスセンター」と地域密着型の「デイサービス虹の家」が、訪問介護事業は「ホームヘルプにじの家」と「福祉サポートとかち野」がサービスを提供しています。



障害福祉サービス事業所こんぱす

障がいのある方の入浴、排せつ、食事などのサービスを提供する生活介護事業所や生産活動の機会の提供や訓練などを行う就労継続支援B型事業所、共同生活施設（グループホーム）、相談支援事業所を社会福祉法人北勝光生会が運営しています。



クローバー共同作業所（ふれあいセンター内）

精神障がい、知的障がいなどさまざまな生きづらさを抱えながら暮らしている方の中での活動の場として平成3年に設立。18年10月に地域活動支援センターとして、26年4月からは、就労継続支援B型事業所としても事業を行っています。



池田町社会福祉協議会（ふれあいセンター内）

地域のボランティア活動の推進や住民参加による地域福祉活動、介護予防対策などに取り組んでいます。また、居宅介護支援事業として、ケアプランの作成や権利擁護の取り組みのほか、共同基金会など福祉関係団体の事務局運営なども行っています。



■ 祭りと観光

夏まつり

8月中旬には、田園ホール前を会場に「いけだ夏まつり」がにぎやかに開催されます。まつりの中心行事は「納涼花火大会」と「盆踊り大会」で、その他にも短い夏を思う存分楽しむことができる企画が用意されています。



秋のワイン祭り

北海道を代表するイベントの一つとして知られる「秋のワイン祭り」は、10月上旬にワイン城横のイベント広場で開催されます。会場では十勝ワイン「トカップ」の赤・白、町民用ロゼ、グレープジュースが飲み放題で提供されるほか、牛の丸焼きなどの味覚も提供されます。



ワインが当たる抽選会など池田ならではの企画も実施され、全国各地で販売される入場券を買い求めて訪れた多くの観光客の皆さんを楽しませています。



池田町大物産展

池田町自慢の逸品が一堂に集まる物産展が、11月下旬に西部地域コミセンで開催されます。町内の事業所が特産品やお歳暮向け商品などを特別価格で販売。実演販売や飲食コーナーもあり、子どもから大人まで楽しめます。



千代田えん提

十勝川をせき止める千代田えん提は昭和10年に池田町千代田地区の水田かんがい施設として造られました。その規模は北海道随一といわれています。9月中旬から10月下旬にかけて、産卵のため回帰してきたアキアジ(サケ)が水しぶきを上げながら遡上する光景は見事で、池田町の秋の風物詩として人気を呼んでいます。



■ 社会教育

総合体育館・図書館・田園ホール

昭和52年オープンの総合体育館は競技場のほか柔道場、トレーニング室などがあります。図書館は平成24年に移転オープン。移転前に比べ広さが約2.5倍で、パソコンや読み聞かせルームなどを新たに整備しました。

文化活動の拠点施設として田園ホールが平成2年に完成。中心となる多目的ホールには260席の電動可動式階段席があり、最大約600人が収容できます。隣接した3館は、指定管理者が一体で管理運営を行っています。



郷土資料館

旧高島中学校を活用・整備し平成29年に開館。開拓期から昭和にかけての農機具・生活用具や鉄道資料、町内の遺跡から出土した土器など約2000件、4300点に及ぶ資料が収蔵・展示され、池田の歴史を学ぶことができます。



■ スポーツ

カーリング

スコットランドで古くから行われていた、重さ約20kgのストーンを円の中に入れる競技で、距離や方向を調整するためブラシで氷を掃きます。昭和52年、北海道で最初に池田町が導入し、平成2年にカーリング場が完成。オリンピックでの日本チームの活躍で人気が高まっています。



パークゴルフ

大人から子どもまで誰でも気軽にゴルフの爽快感を味わうことのできるパークゴルフは、隣町の幕別町で昭和58年に誕生したスポーツ。人気があり愛好者、コース共に急速な勢いで増え、池田町でも多くの皆さんが日々プレーを楽しんでいます。



ペタンク

ペタンクは南フランスが発祥の地といわれ、ヨーロッパを中心に普及しています。野球ボールほどの大きさの鉄球を木製の目標(ビュット)目がけて投げ、得点を競う競技です。ルールは簡単で、誰でも気軽に楽しめます。町内には専用の競技場があり、各種大会が行われています。



■ 池田町独自の取り組み

国際交流

カナダ・ブリティッシュコロンビア州ペンティクトン市と昭和52年に姉妹都市となり、令和4年度に45周年を迎えました。同市は温暖で風光明媚な観光地として知られ、近年はオカナガンワインの主産地としてワイナリーが急増しています。これまで中学・高校生など1000人以上の皆さんが互いのまちを訪れ、町民レベルでの交流を続けています。



子ども夢事業

平成19年度で閉鎖したレストラン事業の清算金とふるさと納税を財源とした「子ども夢基金」により、未来を切り開くたくましい人材の育成を目的とする「子ども夢事業」に取り組んでいます。

子どもたちのふるさとを思う気持ちを醸成し、将来への夢を抱き育む事業などに対して、その事業費の一部を助成しています。



100年の森・オークの森構想

開発により失われた緑を再生するため、開町100年を迎えた平成10年に「100年の森構想」を策定。また町民の皆さんが収集したドングリからミズナラの巨木を100年かけて育て、その木でワイン樽を造ろうと「オークの森構想」を策定し、緑豊かで潤いのある町づくりを推進しています。



緑あふれる公園

池田市街東側にある清見ヶ丘公園には、樹齢300年を超えるカンワの大樹が生い茂り、春になるとエゾヤマザクラが花のトンネルをつくれます。ワイン城北側には農村公園が、市街西側を流れる利別川沿いには河川パークが広がり、市街地を囲むように公園が形成されています。



■ 農村・産業・生活環境整備

農業

池田町の基幹産業は農業を主体とした第一次産業で令和4年度の農業生産額は約83億円です。令和4年現在の農家戸数は206戸で、小麦、ビート、豆類、ジャガイモなどの畑作と肉牛、乳牛の畜産が主力。水田の作付面積は4ヘクタールで、99%以上が転作されています。このほかナガイモなどの野菜、花、ブドウ、薬草づくりも行っています。



林業

池田町は町内の約6割が森林で覆われており、そのうち4割がカラマツを主体とする人工林で、木材として利用可能な資源となっています。天然林は、森林資源の維持・充実を図るため、小規模で環境に負荷をかけない「自伐型林業」や「近自然森づくり」をベースとした施業を推進しています。



企業誘致

北工業団地、利別第1・第2農工団地の3つの工業団地があり、北工業団地には、未利用地が約3ヘクタールあります。池田町の産業の振興および雇用機会の拡大を図るため、立地企業への優遇制度を用意し、企業誘致に取り組んでいます。



水道・下水道事業

上水道は、安全で安定した飲料水の供給を目的に昭和31年から供用を開始。平成7年度より札内川ダムから受水し、良質な水源を確保しています。令和4年度末現在で水道普及率は93.7%で、ほぼ町内全域に配水管を敷設する拡張工事を完了しています。



下水道は、快適な生活環境と公共用水域の保全を目指し、昭和60年から供用を開始し、池田・利別地区ではおおむね下水管敷設工事が完了。令和4年度末現在で処理人口普及率は76.3%で、水洗化率は95.6%です。



町の主な出来事

年代● 事項

明治12年●山梨県人武田菊平氏が利別太に和人として初めて来住
明治29年●池田仲博侯爵270万坪、高島嘉右衛門氏330万坪を所有し農場を経営
明治32年●洞寒外13カ村戸長役場が洞寒村字利別太5番地通りに設置される
明治37年●鉄道の開通に伴い利別駅が設置され、付近に市街地が形成される
明治39年●洞寒外7カ村の戸長役場を廃し2級町村制を施行、洞寒村とする
明治43年●高島駅が設置され、市街地を形成。網走線が開通してから池田市街が急速に発展し、利別市街は衰退の一途をたどる
大正8年●富士製紙工場が操業を開始
大正9年●大正製麻池田垂麻工場が設置される
大正15年●7月1日、町村制を施行し池田町と改称
昭和5年●富士製紙工場が閉鎖される
昭和27年●3月4日、十勝沖地震が発生し町内各地で大きな被害を受ける
昭和31年●上水道給水を開始
昭和36年●ブドウ栽培を始める
昭和38年●6月19日、自治体で初の果実酒類試験製造免許を取得
昭和39年●池田町ブドウ・ブドウ酒研究所を設立。第4回国際ワインコンペティションで赤ワインの試作品が銅賞に入賞
昭和41年●酒類製造の本免許を取得
昭和42年●十勝ワイン・十勝ブランデーの市販を本格的に開始
昭和44年●役場庁舎が完成
昭和45年●社会福祉センターで町営レストラン十勝を開店
昭和46年●酒類製造の永久免許を取得
昭和47年●いきがい課設置、いきがい焼スタート。町営バス東台・富岡・昭栄線運行
昭和48年●外頭飼育牛舎（100頭牛舎）が川合に完成。東台地区大規模草地事業に着手。十勝オーケー株式会社を設立。池田町有線テレビを開局
昭和49年●ブドウ・ブドウ酒研究所（ワイン城）が完成し、3階にレストラン十勝を開店。第1回ワイン祭りがワイン城前広場で開催される
昭和50年●まきばの家がオープン
昭和51年●下水道事業に着手。第3回ワイン・コニャック国際コンクールで赤ワイン・シェリー酒が共に大名賞賞大金メダル、白ワイン・アムレンシスが大名賞賞銀メダル、ブランデーが銀メダルに入賞
昭和52年●カナダ・ブリティッシュコロロンビア州ペンティクトン市と姉妹都市に。ペンティクトン市から全国初となるカーリングを導入。池田町総合体育館・勤労青少年ホームが完成
昭和56年●池田町発祥の地の記念碑を建立
昭和58年●新農業構造改善事業スタート。池豊地区畜産基地建設事業が完成
昭和59年●高島町民センターが完成
昭和60年●下水道が一部供用開始。特別養護老人ホーム・池田光寿苑がオープン
昭和61年●治水公園がオープン。全国の6つの池田町が姉妹町提携
昭和62年●第3回全国池田サミットを開催
昭和63年●開基90年式典を開催。池田町音楽キャンプが始まる
平成元年●ふるさと銀河線が開業。池田・利別農協が合併
平成2年●田園ホール、パイピング式カーリング場、屋内ゲートボール場が完成
平成3年●まきばの家にコテージ村と巨大環境発見遊具が完成。ペンティクトン市との中学生交流が始まる。池田高校がペンティクトン市セカンダリースクールと姉妹提携
平成4年●池田町保健センターが完成。田園ホール前にふれあい広場が完成
平成5年●1月15日、釧路沖地震が発生し町内各地で大きな被害を受ける。十勝ワイン誕生30周年記念行事を開催
平成6年●池田町デイサービスセンターが完成。池田町農業技術研究所の運営スタート。第10回全国池田サミットを開催

平成7年●千代田・川合・青山小学校が利別小学校へ統合。大森・居辺小学校が高島小学校へ統合。道東自動車道(清水ー池田間)が開通
平成8年●新池田大橋片側が開通
平成9年●昭栄小学校が池田小学校へ統合。千代田トンネルが開通
平成10年●開町100年記念式典と各種事業を実施。池田小学校が開校100周年。西部地域コミセンが完成
平成11年●池田大橋が全面開通。富岡地区コミセンが完成
平成12年●近牛地区コミセンが完成。醸造用ブドウの耐寒性交配品種「清舞」が農林水産省に品種登録
平成13年●第17回全国池田サミットを開催。池田町の公式ホームページを公開
平成14年●皇太子殿下ご来町。完全学校5日制開始
平成15年●新消防庁舎完成。道東自動車道(池田～本別・足寄間)開通。9月26日、平成15年十勝沖地震が発生し町内各地で大きな被害を受ける
平成16年●池田駅が開業100年を迎える。十勝ワイン新工場が完成し操業開始
平成17年●ワイン城リニューアルオープン。本町出身の吉田美和さんがボーカルを務めるドリームズ・カム・トゥルーの資料を展示する「DCTgarden IKEDA」がオープン
平成18年●ふるさと銀河線が廃止、代替バス運行開始。醸造用ブドウの耐寒性交配品種「山幸」が農林水産省に品種登録
平成20年●千代田大橋開通。レストラン事業終了。十勝エコロジーパークオープン
平成21年●利別保育所が閉所。「ドリームズ・カム・トゥルー・ビンヤード(ドリカムブドウ園)がオープン。利別小学校が開校30周年
平成22年●本町出身の長島圭一郎さんがバンクーバー冬季五輪スピードスケート男子500mで銀メダル獲得。池田高校出身の長島、及川佑、太田明生の五輪出場3選手を讃える会、町民大パレードを開催
平成23年●一般廃棄物最終処分場「うめ～るセンター美加登」が完成。東日本大震災で被災した岩手県宮古市と山田町に支援団を派遣。十勝いけだ地域医療センター開設
平成24年●高島中学校が池田中学校へ統合。町立図書館が移転オープン。池田高校吹奏楽部が岩手県山田町で復興支援公演を実施
平成25年●十勝ワイン誕生50周年記念行事を開催。本町出身の及川佑さん、長島圭一郎さんがソチ冬季五輪スピードスケート男子500mに出場。両選手に池田町特別栄誉賞を授与
平成26年●池田町名誉町民丸谷金保さんの町葬を執行。ワイン城落成40周年
平成27年●小学生道外派遣事業を開始し、小学5・6年生が沖縄県読谷村へ
平成28年●新学校給食センター完成。池田高校へ給食を提供開始
平成29年●高島に池田町郷土資料館がオープン
平成30年●ワイン城C倉庫をスパークリングワイン製造・見学施設に改修。平成30年北海道胆振東部地震で道内全域の約295万戸が停電。第45回秋のワイン祭りが台風の影響で中止に。池田高校が創立100周年
令和元年●ワイン城のブランデー蒸留室を改修。高島小学校が開校120周年
令和2年●新型コロナウイルス感染拡大。ワイン城が15年ぶりの大改修を終え、6月20日にリニューアルオープン。醸造用ブドウの町独自品種「山幸」が国際ブドウ・ワイン機構(OIV、フランス)に品種登録
令和3年●JA十勝池田町とJA十勝高島の2農協が合併
令和4年●ドリームズ・カム・トゥルーの吉田美和さんが命名した町独自開発の赤ワイン用品種「未来」、白ワイン用品種「銀河」が農林水産省に品種登録。高島・利別小学校が池田小学校へ統合。多世代交流施設ふらっと、池田町学校プールが完成。いきがい焼50周年

令和5年度 町内の主な行事 (予定)

4月	29日(土)	●ブドウ苗木販売	10月	1日(日)	●第50回秋のワイン祭り
	"	●2023池田町観光オープン式		2日(月)	●池田町功労者表彰式
5月	12日(金)	●遊ゆう大学入学式・始業式	中旬	●醸造用ブドウ 収穫体験・受け入れ	
	8日(木)	●池田町家畜品評会	30日(月)~11月3日(金)	●池田町文化祭「菊花展・文化展」	
6月	11日(日)	●池田町消防団春季演習	11月	上旬	●ブドウ剪定(せんてい)講習会
	12日(月)~15日(木)	●第53回町民ソフトボール大会		15日(水)	●風間杜夫ひとり芝居 「カラオケマン最後のロマンス」
	23日(金)	●池田町戦没者追悼式	下旬	●池田町大物産展2023	
7月	24日(月)~28(金)、31日(月)~8月4日(金)	●小学生道外派遣研修・沖縄県読谷村訪問	12月	17日(日)	●池田高等学校吹奏楽部「第54回定期演奏会」
	29日(土)	●十勝ワインを楽しむ町民パーティー2023 ~十勝ワインは今年60周年~	下旬	●池田町リンク開きスケート記録会	
8月	12日(土)	●第42回いけだ夏まつり	1月	4日(木)	●新年交礼会
	19日(土)	●第20回十勝ワインバイザー認定試験		5日(金)	●池田町消防団出初め式
	26日(土)~27日(日)	●ふれあい広場2023池田	7日(日)	●池田町はたちのつどい	
	下旬	●第40回地域対抗ベタンク大会	中旬	●池田町民スケート大会	
9月	10日(日)	●ラリー北海道 スーパースペシャルステージ(SSS)	下旬	●第42回地域対抗カーリング大会	
	中旬~10月上旬	●ブドウ収穫	2月	中旬	●遊ゆう大学 大学祭
			3月	中旬	●第38回地域対抗ミニバレー大会
				中旬	●第52回中学校卒業生を祝い励ます会
				中旬	●遊ゆう大学卒業式・修了式
				中旬	●池田町文化賞・スポーツ賞表彰式



資料編

福祉・介護 (R5.4.1)

区分	施設	施設数
子ども	保育園(所)	1
	幼稚園	1
	学童保育所	1
	子どもセンター	1
障害者(児)	共同生活援助(グループホーム)	11
	就労継続支援B型	2
	生活介護事業所	1
高齢者	介護老人保健施設	1
	介護老人福祉施設	2
	通所介護	2
	認知症対応型共同生活介護	5
その他	小規模多機能型居宅介護	1
	ふれあいセンター	1

保健・医療 (R5.4.1)

施設名	施設	医師(人)	病床
保健センター	1	—	—
病院	1	6	60
診療所	5	5	—
歯科診療所	2	2	—
訪問看護	1	—	—

教育 (R5.5.1)

区分	学校	学級	教員(人)	生徒(人)
幼稚園	1	1	4	14
小学校	1	15	26	205
中学校	1	6	15	101
高等学校	1	4	23	104

商業の状況 (R3経済センサス)

区分	事業所(個数)	従業者(人)
卸売業	4	11
小売業	63	277

国勢調査による人口推移

区分	世帯数(世帯)	人口(人)			人口密度(人/Km ²)
		総数	男	女	
大正14年	2,546	13,180	—	—	35.4
昭和10年	2,332	13,181	6,729	6,452	35.4
昭和20年	2,713	15,160	7,606	7,554	40.7
昭和30年	3,076	17,049	8,579	8,470	45.8
昭和40年	3,582	15,529	7,641	7,888	41.7
昭和50年	3,553	12,306	5,977	6,329	33.1
昭和60年	3,559	11,255	5,424	5,831	30.3
平成7年	3,291	9,093	4,286	4,807	24.4
平成12年	3,395	8,710	4,094	4,616	23.4
平成17年	3,327	8,193	3,835	4,358	22.0
平成22年	3,189	7,527	3,501	4,026	20.2
平成27年	3,044	6,882	3,253	3,629	18.5
令和2年	2,974	6,294	2,967	3,327	16.9

土地 (R5.1.1)

区分	面積(km ²)
総面積	371.79
田	13.73
畑	62.81
宅地	4.48
池沼	0.04
山林	174.40
牧場	55.32
原野	4.12
雑種地	18.43
その他	38.46

経営耕地面積

(2020年農林業センサス)

区分	面積(ha)
総面積	8,117.2
田	410.4
畑	7,664.3
樹園地	42.5

農業就業者数と農家戸数

(農林業センサス・農業基本調査)

年次	農業就業者(人)	農家(戸)
60	1,194	623
H元	1,199	563
5	1,026	471
10	848	410
17	—	327
22	—	294
27	—	252
R2	—	227

家畜飼養農家数および飼養頭数 (池田町農業者データブック)

年次	乳用牛		肉用牛		馬		豚	
	飼養農家数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養農家数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養農家数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養農家数(戸)	飼養頭数(頭)
H元	120	3,820	110	5,740	90	320	10	1,500
10	60	3,430	110	5,450	39	179	1	227
20	40	2,685	75	5,481	15	80	2	375
29	29	2,543	67	6,267	12	39	1	344
30	28	2,974	65	6,178	11	30	1	339
R元	29	3,107	64	5,966	8	24	1	339
2	29	3,215	65	6,106	8	23	1	339
3	27	3,077	65	5,906	9	26	1	309
4	27	3,095	58	6,257	7	27	1	393

種類別世帯数・世帯人員 (R2.10.1国勢調査)

区分	世帯数(世帯)	世帯人員(人)
総数	2,974	6,294
住宅に住む一般世帯	2,931	6,073
主世帯	2,895	6,011
持ち家	2,115	4,657
公営・公団・公社の借家民	329	619
民営貸家	321	546
給与住宅	130	189
間借りの2人以上の世帯	36	62
住宅以外に住む一般世帯	27	52
施設等	16	169
1世帯当たり人員	—	2.07

池田町郷土資料館について

本町は、明治32年「測寒外13カ村戸長役場」が利別太（現在の利別地区）に設置され、その後、今日までの町の発展に熱い思いを寄せる先人の苦勞に支えられ、産業、経済、教育、行政の発展がもたらされました。

池田町郷土資料館は、平成24年3月に閉校した旧高島中学校の校舎を活用して、平成29年5月に開館いたしました。

当資料館には、開拓期から昭和にかけての農機具や鉄道資料、生活文化に関する資料など多くの町民の方々の協力を得て収集された約2,000件、4,300点に及ぶ資料が収集・展示されています。

さらに、池田3遺跡など町内の遺跡から出土した縄文時代から埴文時代の土器・石器などの埋蔵文化財も郷土資料とともに収集・展示されています。

あわせて、町の歴史などのパネル展示もあり、「ふるさと」池田町について学び、知ることのできる施設となっています。

また、高島地区や高島中学校の歴史についても、パネル展示で紹介されています。

ロマン・あふれるいにしへの「縄文時代」から、ゾーンと懐かしい「昭和時代」まで、どうぞゆっくり『池田の歴史』をご覧ください。

施設の案内

開館期間 5月1日～10月31日（11～4月は休館）
 開館日 日曜日～水曜日（金・土・祝日は休館）
 開館時間 10:00～16:00
 入館料 無料

アクセス

〒089-3152
 池田町字高島81番地1（旧高島中学校）
 TEL 015-578-7388



問合せ

〒083-0021 池田町字西1条7丁目11
 池田町教育委員会 教育課 社会教育係
 TEL 015-572-5222
 FAX 015-572-5900

池田町郷土資料館



ガイダンス 展示室

先人の足跡を学ぶ

ガイダンス展示室には、先史時代から開拓期を経て、現在に至る池田町の歴史、町の産業や交通のあゆみ、町の発展に寄与した人物の紹介などのパネル展示と、関係資料がともに展示され、「ふるさと」池田町について学び、知ることのできる展示となっています。

エントランス

池田町の沿革・自然や高島地区と高島中学校の歴史、十勝ワインの物語などについてパネル展示で紹介しています。



収蔵室①・② 農業1・2

開拓期から昭和にかけて使用された農機具、農作業に欠かせなかった馬具などが展示されています。池田町ではかつて稲作が盛んだったことから、十勝としては珍しく稲作の道具が多く展示されています。



収蔵室⑦ 戦時

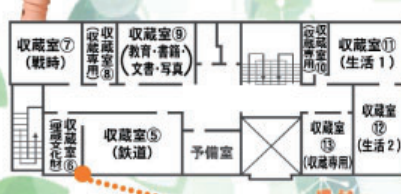
軍服や勳章など戦前から戦後にかけての資料が展示されています。



収蔵室⑨ 教育・書籍 文書・写真

大正から昭和にかけての様々な教科書や学校教材、書籍、文書などが展示されています。

開拓期から昭和にかけての貴重な資料を展示 生活・教育・鉄道/2階



収蔵室⑩ 縄文文化財

池田3遺跡など池田町内で出土した縄文時代や埴文時代の土器・石器などの埋蔵文化財が展示されています。



収蔵室⑪・⑫ 生活

大正から昭和前期の家庭の様子や五右衛門風呂、いろりなどが再現され、当時の様子がうかがえます。昭和初期に家庭で使われていた番音機が修復され、当時の音色を奏でることができます。

当時の生活を知り 時代の流れを肌で感じる

1階/農業・林業・消防



データベース



見てみたい資料や探している資料はデータベースで確認できます。



収蔵室③ 消防

消防資料では、昔の消防服やホース車、まといなどが展示されています。



収蔵室④ 林業

林業資料では、様々な種類のノコギリなどが展示されています。



収蔵室⑤ 鉄道 ふるさと銀河線



鉄道資料は、平成18年に運行を終えた「ふるさと銀河線」の町内駅舎の駅名看板や機関士の帽子、制服などが展示されています。

郷土資料館では、団体見学も受付けています。学校の授業や視察・研修などにご活用ください。（要事前相談）

◇時間：およそ1時間程度
 ※要望に応じて対応可

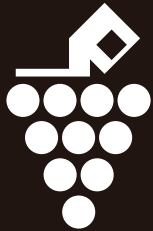
◇料金：無料

◇申込み・問合せ先
 池田町教育委員会
 教育課社会教育係
 TEL015-572-5222

団体見学



TOKACHI WINE



SINCE 1963

1978年に始まった夢、 ついに世界へ。

ブドウ栽培に適さないと
言われていた、道東の地で
長きにわたり、多くの
人々の努力によって
誕生した、独自品種「山幸」。



その品種が、今、
世界に認められ、そして
世界に羽ばたこうと
している。
皆様に感謝を込めて。

【山幸種】

豊産性の赤ワイン品種「清見」と寒さに強い「山ブドウ」を交配させ、
耐寒性があり、かつ、ワイン用として高品質の可能性が望める品種の開発に
長年取り組んで生まれた品種の一つが「山幸」です。
父系の山ブドウの特徴である、色が濃く、野趣あふれる味わい、
さらに従来の十勝ワインの品種にないボディ感の強さは、
多くのワイン愛好者に親しまれています。



北海道池田町独自品種「山幸」が
2020年国際ブドウ・ワイン機構(OIV)に
品種登録されました。

「山幸」という品種が
世界に認められた証です。

国内では3例目、
北海道の独自品種としては、
初の快挙となりました。